

成果指標				
成果指標	伊予市老人デイサービスセンター「もものさと」の一日平均利用者数を21人以上にする。			
指標設定の考え方	伊予市デイサービスセンター「もものさと」は介護保険事業所として活用され、主に介護保険収入により運営されている。定員は30人であるが、デイサービスを提供する民間の事業所も増加し、現状は一日平均20人前後で推移している。今後、対象者が増加することが見込まれるため、指標を設定し動向を把握することとした。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	21	21	21	0
実績	15.2	14.2	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	平均利用者数は、昨年度の実績を下回り目標達成には至らなかった。在宅要介護高齢者の閉じこもり予防や心身機能の向上を図るためにも利用者の増加を促していきたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	利用者が昨年の実績を下回っており、指定管理者とも協議しながら、利用者増を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題